

医療コミュニケーション

[演習] 第2学年 後期 必修 1単位

《担当者名》○長谷川純子 j-hasegawa@hoku-iryo-u.ac.jp 多田菊代 中村宅雄 用田歩 小島悟 鈴木英樹 武田涼子
大須田祐亮 澤田篤史 岩部達也 山根裕司 只石朋仁 佐藤一成

【概要】

対象者にとって良い介入とは、対象者と専門職との間で、適切な専門技術の提供および良好なコミュニケーションが成り立つことで達成される。対象者および専門職種における信頼関係の確立や適切な情報の提供方法について、コミュニケーションの理論と実践方法を中心に学習し、臨床現場において必要とされる総合的なコミュニケーションスキルを身につける。

【学修目標】

【一般目標】

対象者および専門職間の良好な関係の確立や円滑な情報伝達を行うため、コミュニケーションの理論と実践を学び、医療現場で必要となるコミュニケーションスキルを身につける。

【行動目標】

1. 理学療法士としてのコミュニケーションの重要性を説明する。
2. 対象者と関わる過程において、以下の項目を実施する。
 - 相手に対して自己紹介をし、これから行うことを説明する。
 - 共感的理解の態度を示しながら、訴えを聞く。
 - 相手の話を促進させるような、適切な促しをする。
 - 相手に言い残したことがないように、十分に話を引き出す。
 - 対象者の価値観を理解する。
 - 現病歴を捉える。
 - 訴えを要約し、簡潔にまとめる。
3. 関係する医療職とのコミュニケーションの重要性を説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イントロダクション コミュニケーションの意義	授業オリエンテーション コミュニケーションとは(目的、構成要素)	長谷川純子 多田菊代 用田歩
2) 3	コミュニケーション演習	相手を知る(傾聴、共感)	長谷川純子 多田菊代 用田歩
4) 5	コミュニケーション実践演習	地域在住高齢者と対話する	長谷川純子 多田菊代 用田歩 中村宅雄
6	コミュニケーション実践演習	実践演習振り返り	長谷川純子 多田菊代 用田歩
7	医療現場でのコミュニケーション	医療現場におけるコミュニケーション	長谷川純子 多田菊代 用田歩
8) 9	理学療法士-対象者間のコミュニケーション	臨床実習中を想定した自己紹介、オリエンテーション、主訴や現病歴の聴取	長谷川純子 多田菊代 用田歩
10) 11	コミュニケーション実践演習	一連の医療面接演習	長谷川純子 多田菊代 用田歩
12) 13	コミュニケーション実践演習	模擬医療面接(模擬患者を対象とした実践演習)	全担当教員
14	コミュニケーション実践演習	模擬医療面接振り返り	長谷川純子 多田菊代

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
			用田歩
15	今後への展開	来る臨床実習に向けての展開について考察する	長谷川純子 多田菊代 用田歩

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

提出課題で100%評価する

- ・毎回のリフレクション (50%)
- ・演習課題 (50%)

【教科書】

内山靖 他 著「リハベーシック コミュニケーション論・多職種連携論」医歯薬出版 2021年

【参考書】

山口美和 著 「PT・OTのためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド 第3版」 医学書院 2024年
三宅わか子 他 著 「会話例とワークで学ぶ 理学療法コミュニケーション論」 医歯薬出版 2018年

【備考】

提出課題はオンライン上（manaba）への提示とする。

【学修の準備】

予習：教科書や参考書を熟読して授業に備えること。（20分）

復習：授業で実施した演習内容を、様々な身の回りの人と練習すること。（20分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP1）生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。

【実務経験】

全担当教員（理学療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や保健福祉施設での理学療法士としての実務経験を活かし、対象者とのコミュニケーションにおける実践的教育を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している